

憲法違反の安保法（戦争法）強行1年

危険な共謀罪・緊急事態条項

**憲法違反の「駆けつけ警護」
南スーダンで殺し殺される新任務**

安倍内閣は内乱状態に陥っている南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に11月から派兵予定の部隊に新任務を命じるために訓練を開始することを明らかにしました。

「戦争法」が施行され、PKOに参加する自衛隊部隊は

○他国部隊やNGO職員が攻撃されたときに応戦する「駆けつけ警護」

○宿営地への攻撃に外国軍と共同して応戦する活動等

が出来るようになりましたが基本的に憲法9条違反です。

PKO参加5原則には「停戦合意が原則で停戦が破られた場合、撤退できることになっています。」

自衛隊の若者の命を粗末に扱う安倍政権は許せません。

海外での武力行使は憲法違反です。



憲法守る野党と市民の共同広げよう

7月に行われた参議院選挙は日本の歴史始まって以来の野党と市民の共同で自民党の悪政と闘う野党統一候補がすべての1人区で擁立され11選挙区で勝利しました。

憲法を守る闘いは衆議院選挙でも協力して闘う事で展望が開けます。

安倍内閣の独裁許さず 共謀罪は市民弾圧法

安倍内閣は参議院選挙では憲法改悪については一言も発言せず、選挙が終わるやいなや改憲論議を始めることを要求しました。

さらに3回も世論の反対で廃案となった「共謀罪」の名前を「テロ等組織犯罪準備罪」と名前を変えて秋の国会に提出しようとしています。「テロ対策」としていますが中身は市民の弾圧に使われる事は明らかです。3人寄って話しただけでも逮捕できるような法律は絶対許せません。

2014年12月提出の政府案		今回の政府案	
罪名	共謀罪	テロ等組織犯罪準備罪	組織的犯罪集団
適用対象	団体	目的が4年以上の懲役・禁錮の罪を実行することにある団体	目的が4年以上の懲役・禁錮の罪を実行することにある団体
重大犯罪について	①団体の活動として ②共謀する	①組織的犯罪集団の活動として ②具体的・現実的な計画を立て ③実行の準備行為を行う	①組織的犯罪集団の活動として ②具体的・現実的な計画を立て ③実行の準備行為を行う
構成要件		変更なし	4年以上の懲役・禁錮の刑が定められている犯罪=600以上（殺人、窃盗、道路交通法、公職選挙法...）

自由と民主主義に逆行 特定秘密保護法・盗聴法の改悪

2014年12月に施行された特定秘密保護法は国民の知る権利を大きく奪いました。

さらに今年5月には「刑事訴訟法等改悪」が行われ、従来制限があった盗聴の制度を事業者にすべて保存させ警察署に送る仕組みに変えました。電話やメール・SNSまで警察が事後いくらでも再生して盗聴できるように改悪されました。

また、自分が助かりたいために他人の責任とするような冤罪が発生する危険がある「司法取引」も施行されます。

自民党改憲草案の 緊急事態条項とは

（緊急事態の宣言）

自民党改憲案第九十八条

内閣総理大臣は、我が国に対する外部からの武力攻撃、内乱等による社会秩序の混乱、地震等による大規模な自然災害その他の法律で定める緊急事態において、特に必要があると認めるときは、法律の定めるところにより、閣議にかけて、緊急事態の宣言を発することができる。

自民党改憲案第九十九条

緊急事態の宣言が発せられたときは、法律の定めるところにより、内閣は法律と同一の効力を有する政令を制定することができるほか、内閣総理大臣は財政上必要な支出その他の処分を行い、地方自治体の長に対して必要な指示をすることができる。

独裁政治狙う安倍内閣

自民党改憲草案は基本的には明治憲法に戻ることを目指しています。

改憲草案の「緊急事態宣言」を安倍内閣が「閣議決定」すれば、後は憲法や様々な法律を無視して法律と同等の効力を持つ「政令」を自由に公布して財政も地方自治体も言いなりにしてしまう事になります。

東日本大震災や熊本地震などの大災害では地方自治体が国の支援を受けて救助や復興にあたっていますので国が勝手にやることにしているのは多くの自治体が必要ないと話しています。安倍内閣は理由を付けて「独裁」を狙っていることは明らかではないでしょうか。

戦争法強行から1年目
午後4:30より市役所前で
集会とパレードが行われます。
ご一緒に参加しましょう。

洛西平和ネット

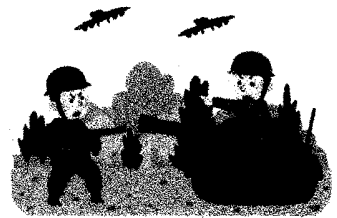
発行 2016年9月19日
事務局 tel・fax075-874-4876

ぜひ、日本国憲法を学びませんか？

洛西平和ネット「憲法カフェ」参加者を募集します

月に1回(9~11月の第4土曜日・午後)、コーヒーを飲みながら気軽に参加

安倍・自公政権が、いよいよ秋の臨時国会から憲法改悪に足を踏み出そうとしています。いま、日本国憲法をあらためて学びなおすことが求められています。「洛西平和ネット」では9月から11月の毎月1回、第4土曜日の午後、連続の「憲法カフェ」を行ないます。会場は境谷センター内の喫茶店「樺(けやき)」。コーヒーを飲みながら、じっくり学び合い、語り合いませんか。



各地の「憲法カフェ」で活躍中の若手弁護士さんが、わかりやすく説明します



お話しいただくのは、若手弁護士の高木野衣(たかぎのえ)さん(京都第一法律事務所)、諸富健(もろとみ たけし)さん(市民共同法律事務所)です。お二人とも「明日の自由を守る若手弁護士の会(あすわか)」に所属し、各地の「憲法学習会」で活躍してこられました。その経験を生かし、わかりやすく教えていただけます。

洛西平和ネット「憲法カフェ」開催要項

《講師》 弁護士：高木野衣さん(京都第1法律事務所、「あすわか」会員)

弁護士：諸富 健さん(市民共同法律事務所、「あすわか」会員)

《日程・内容》 ※各回とも講師のお話し(50分)、質疑・意見交換(45分)、諸連絡(5分)

第1回… 9月24日(土)(担当：高木弁護士)

「日本国憲法はどのようにしてできたのか？」

第2回… 10月22日(土)(担当：高木弁護士)

「日本国憲法と、私たちのいのち・くらし・平和」

第3回… 11月26日(土)(担当：諸富弁護士)

「自民党改憲案で、いのち・くらし・平和はどうなる？」

《定員》 30人(事前の申し込みが必要で、原則として先着順)

《参加料》 1回¥500(コーヒー代+資料代) *初回に一括払いの場合は3回分¥1200に割引

各回とも…

・受付…午後1時45分～

・学習…午後2時～3時30分

会場 「カフェ樺(けやき)」

(市バス②「境谷センター前」下車、徒歩1分。境谷会館内)

◎申込み方法

下記ご記入の上 FAX もしくはお電話をお願いします。(参加日に○を)

お名前	御住所	電話
1回目	2回目	3回目

「洛西平和ネット」事務局…FAX/電話 075-874-4876

※郵送の場合…〒610-1146 京都市西京区大原野西境谷町 2-9-13-503

「洛西平和ネット」事務局 宛

